

● 開催日時：令和3年3月18日（木）午後3時～午後3時50分

● 開催場所：ミモザ島田神座（島田市神座2564番125）

● 出席者【委員】

・静岡福祉大学	渡邊 英勝（委員長）
・島田市自治会長連合会	杉本 静雄（副委員長）
・島田市医師会	藤本 嘉彦
・島田市民生委員・児童委員協議会	長野 恭子
・特別養護老人ホーム ところは	鈴木 晃浩
・通所介護 うららデイルーム	橋本 主真子
・ケアマネットしまだ	齋藤 良太
・島田市介護認定審査会委員	進士 寿子
・第7期介護保険事業計画等策定委員	大石 武義

【事務局】

・長寿介護課長	三浦 隆広
・認定指導係長	河西 智里
・書記	大道 崇史

1 開会

2 島田市長寿介護課長あいさつ

3 議事：事業所の新規指定について

(1) ミモザ島田初倉【(介護予防)小規模多機能型居宅介護】、(2) ミモザ島田神座【(介護予防)認知症対応型共同生活介護】の新規指定について

- ・「指定申請書」により大道書記が説明
- ・事業者の説明：「高齢者の幸せな暮らしに貢献する」ことを経営理念に掲げ、一都四県に「温かい家庭的な介護」を提供していく。(介護予防)小規模多機能型居宅介護では、退屈にならないようにテラスで楽しめることを行いたい。(介護予防)認知症対応型共同生活介護では、コロナの影響が少なくなった時に近隣の方々とふれあう機会をつくりたい。
- ・質疑応答

意見：事業所の協力医療機関が訪問診療の医療機関の場合、かかりつけの医師がいる利用者（入居者）との関係はどのように築くのか。都会と違って、島田市では医師が少ない。病院の負担にならないよう、具合が悪くなってから病院に運ばれるより、かかりつけの医師につなげるような連携をとるよう考慮してほしい。わからないことがあれば、医師会事務局に連絡してほしい。

質問：どのような状態像の方が利用できるか？

回答：どのような状態像の方がよいというものはない。家ででの生活が難しい方、病院からいきなり家にもどるよりは時々自宅にもどる方がサービスの効果がある。退院支援でワンクッション置き、小規模多機能型居宅介護のショートステイを長めに使うなど、対処困難な方も積極的に受け入れる。

意見：事業所によっては、泊りの日数を制限するところもあると聞いている。困難事例で在宅復帰も対応してくれるとケアマネジャーにとってもよい情報となる。

・ 2 件の新規申請について

委員長：その他意見もないようなので、「ミモザ島田初倉」・「ミモザ島田神座」の新規申請について、承認してよろしいか。

↓

「ミモザ島田初倉」・「ミモザ島田神座」の新規申請について、承認された。

#### 4 報告事項

(1)事業所（地域密着型通所介護①健康の部屋 虹②デイサービスリハケア初倉）の廃止について

・「廃止届出書」により大道書記が説明

(2)事業所（地域密着型通所介護①縁がわの所在地②デイサービスきたえる一む島田の定員）の変更について

・「指定内容変更届出書」により大道書記が説明

#### 5 閉会